

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	赤穂精華園放課後等デイサービスセンター			
○保護者評価実施期間	令和7年11月7日 ～ 令和7年11月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月12日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月19日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	私たちの放課後等デイサービスは、豊かな自然に囲まれた環境の中で、子どもたちがのびのびと活動できることが大きな特長です。	虫取りや葉拾い、クリスマスシーズンには松ぼっくりやツタを使ったクリスマス飾りを作るなど、四季の移り変わりを感しながら、外遊びや自然体験を通して、心と身体の成長を大切に育んでいます。	できあがった作品を県などが主催する作品展に展示して、子どもたちの創作意欲につなげていきたいと考えています。
2	地域の社会資源を活用した活動を行っています。	長期の休みには、他の福祉施設が運営する喫茶店に出かけて喫食したり、海岸ヘドライブに出かけて貝殻をひろってきたり、ザリガニ釣りを行うなど、地域に開かれた放デイを目指しています。	現行では市内に限定した活動ですが、将来的には小旅行のような活動も実施していきたいと考えています。
3	ボランティアの受入を積極的に行っています。	有償ボランティアで音楽療法を月2回実施。ほぼ毎月季節に応じた催しをボランティアを通じて行っています。その他絵本の読み聞かせなども毎月行ってもらっています。	ボランティアだけでなく、地域の方からのお声かけで柿狩りなど実施させていただいており、そうした活動も継続していきたいよう今後も地域との関係を大切にしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動が苦手な方が過ごしにくい環境です。	室内の活動場所がワンルームなので、外部からの刺激を少なくするのが難しい環境です。	物理的なスペースがないので、個室を準備することができません。必要に応じてパーティションの使用などで対応しています。
2	市街地から遠い場所にあります。	特別支援学校はほぼ隣接しているのですが、市内の学校からは遠く、市内の学校から利用される子どもさんには送迎の時間だけ活動時間が短くなってしまいます。	複数の送迎車を用意するなど、できるだけスムーズに放デイを利用できる体制を整えています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 赤穂精華園放課後等デイサービスセンター

公表日 令和7 年 12 月25日

利用児童数

22

回収数

19

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1			もう少し広いスペースがあればいいな と思います。	ご意見ありがとうございます。部屋の広 さは整理整頓を心がけ屋外やトレーニン グルーム等の併用で対応していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1		2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1				
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	15	2		2	ST・OT等はないので、そこまで専門性 とは思ってないです。	将来的にはST・OT等の導入ができればよ いと考えておりますが、現在予定はござ いません。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	17			2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	19					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切 に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	18			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	17	1		1	夏休みにはおまつり、すいか割り、外出 （公園・喫茶）、プールの経験をさせて くださったり、音楽療法やトレーニング ルームも子どもにとって貴重な時間と なっております。	長期の休みは受入時間も長いので、これ からも変化のある、子どもたちが楽しめ るプログラム提供に努めてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	7		2	10		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	19					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	18	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	4	8		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	18	1			連絡帳でその日の様子を伝えてくださる のでとても有り難く思っております。	連絡帳だけでなく、何かあれば送迎時 にお伝えしていただくか電話でご相談下 さい。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	3	2	3		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19				いつも温かく声をかけてくださったり、 気持ちに寄り添ってくださっています。	ありがとうございます。今後も児童に寄 り添った支援に努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	5	9	父母の会、ないです。	保護者参加型の行事としては「精華園 祭」を実施しております。父母の会につ いては現在のところ予定しておりませ ん。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	17	1		1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14		3	2	翌月の行事予定を毎月早めにいただいているので有難いです。	行事予定については今後も発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13		1	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16		1	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19				良い表情をして帰ってくるので、安心して過ごさせてもらっていることが伝わってきます。	ありがとうございます。今後も利用される子どもさんが安心して通所できるよう努力してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18			1	楽しく通えています。	ありがとうございます。これからも子どもさんが過ごす大切な一つの間として運営してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				長期の休みの時に他の事業所は遠方へ出かけるところがあると聞いて楽しそうだなと思いました。	現行では長期休みの活動について市内を出ることはありません。今後検討してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
赤穂精華園放課後等デイサービスセンター		令和7年12月25日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	5	クールダウンの部屋がなく、遊戯室やテラスを工夫して使用。	トイレはいったん廊下に出て行かなければならず時間がかかる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	利用定員以上の職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		建物の入口にスロープを設けたり、部屋の入口を引き戸にしてV字型のレールを用いて踏きを減らす等の工夫を行っている。	手洗い場・非常口へ行くのに段差あり。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の掃除、おもちゃや本の整理整頓を日課としている。また、部屋は明るくスペースもありゆったりしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	ワンルームだが必要なときにはパーティション等を利用してプライバシーの確保に努めている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		ミーティング時等に協議し、すぐに実行可能であれば改善。大きな改善については部会をとおして園全体の取組として行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に1回実施している保護者向け評価表に基づいて放デイ会議で検討を行い、その内容を業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		支援の気づきポストで職員の意見を集約。施設長面談や課長面談を全職員に実施。月1回会議を行い必要に応じて反省会を実施。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		外部評価を行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		園内の4つの部会でそれぞれ研修会を企画し実施。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		作成し、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	アセスメントを実施した上でサービス計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援計画作成時のモニタリングでは活発に意見交換を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	モニタリングには全職員が参加。ケース記録入力時にサービス計画が表示され、確認できるシステムになっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	4	事業所独自のインフォーマルな様式でアセスメントを行っている。	フォーマルなアセスメントについて学習する機会を設ける必要あり。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2	5領域について網羅した計画となっている。	支援計画は本人支援のみで行っている。今の様式では他の支援が記入できない。移行支援や地域連携等の支援内容までは設定されていない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		モニタリング実施時に行っている。夏休み等の長期休暇時は特に行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		夏にはプールなど季節に応じた活動を実施。長期休みにはボランティアによる活動やおやつ作り等実施。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		行われている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3	受入前には職員が集まり、送迎の確認を含めて支援内容の確認を行っている。	職員の勤務時間が違うため十分ではない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	送迎から帰ってきたあと支援の振り返りを行うとともに、保護者からの伝達事項の申し送り等を行い情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		業務日誌で業務全般、ケース記録に個別の支援内容について毎日記録し、月に1回管理監督職が閲覧している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月に1回の枠にとらわれず、必要があればモニタリングを実施してサービス計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」を複数組み合わせた支援を実施。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	おやつを数種類用意して選んでもらう、絵本とつみ木の活動を提示して本人に選んでもらうなどの支援を日常的に行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管のみならず、できるだけ直接支援している職員が参加するようにしている。	園内の会議には参加しているが他の事業所の中には参加していない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	相談支援事業所等との関係は密に行っている。	医療や保健との連携体制は薄い。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校からの情報はメール及び連絡用アプリで、個別の伝達事項については送迎時に行うとともに緊急時等には電話連絡している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	主に相談支援事業所を通して行っている。	保育所や幼稚園等との情報共有はできていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		学校で今利用している事業所、卒業後に行く事業所が集まり、情報を提供している。	主に相談支援事業所を通して行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		センターとの連携はとれていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		地域の子どもたちと交流する機会を設けていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	赤穂市主催の自立支援協議会に参加している。	参加していない職員への報告がない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		主に送迎サービス時に保護者と情報交換を行っている。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	家族への情報提供はできている。	家族への家族支援プログラムは実施していない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	利用開始前、契約時に丁寧な説明を行っている。また、運営規程に変更があったときは、保護者へ書面を手渡して説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		送迎時等を利用してこどもや家族の意向を確認している。子どもや保護者の意見を尊重していきたい。	特別な機会を設けていない。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		送迎時を利用して保護者から計画の同意を得ており、支援内容を6ヶ月に一度見直し保護者へ伝えている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		家族等から相談があったときには個別に面談を実施している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		6	保護者からの要望が多くあれば検討する。	当事業所には保護者会がなく、保護者どうしで交流する機会も特に設けていない。父母や兄弟の支援は行っていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		園内で「事故防止・苦情処理等対策部会」を設置して月1回検討を行っている。契約時に苦情処理の仕組みを図解を交えて行っている。	

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	2	毎月の行事予定を保護者へ配布。精華園のHPに活動内容と年2回発行の「精華園だより」をアップしている。	SNSの活用は行っていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		ケース記録等は鍵のかかる倉庫に保管。パソコンデータはパスワードを各職員に発行して管理している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1	自閉症児への対応として、スケジュール表の作成、絵カードの提示などの視覚支援を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	事業所の行事に地域のボランティアを受け入れている。	事業所の行事に地域住民を招待していない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	4	各種マニュアルを策定し分かりやすい場所に保管している。	事故等の発生を想定した訓練については不十分である。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	BCPを策定し、全園として風水害と地震の訓練を行っている。	非常時を想定した訓練については不十分である。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	契約時に保護者から状況を確認してアセスメントシートに記入してもらっている。不明な点はその都度保護者へ確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	受け入れることになれば対応する。	重篤な食物アレルギーのある児童を受け入れたことがなかったため、医師の指示書に基づく対応はしていない。
非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	安全計画を作成するとともに、安全管理に必要な研修や訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3		家族への周知について不十分である。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	月1回事故防止・苦情処理等対策部会で検討し、総合対策部会で情報共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		主に園内実施の研修会に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	利用契約書に記載している。	